

令和元年第11回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 令和元年11月12日 午後3時30分
- 2 閉会 令和元年11月12日 午後4時45分
- 3 会議に出席した委員
花井 隆教育長、太田孝雄教育長職務代理者、金田真也委員
天野千栄子委員、高崎佐智江委員
- 4 会議に出席した職員
教育部長 宮川裕之
教育総務課長 伊藤英洋
学校教育課長 渡邊宏光
生涯学習課長 森下 錬
スポーツ課課長補佐兼係長（代理出席） 加藤純也
文化財課長 増山禎之
中央図書館図書館業務係長（代理出席） 朽名香澄
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第11回定例会議事日程

日 時 令和元年11月12日(火)

午後3時30分

場 所 北庁舎3階 300会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 令和元年度一般会計教育費補正予算について
- (2) 市議会提出案件（伊良湖岬小学校新築工事請負契約の変更）に対する意見について
- (3) 愛知県市町村対抗駅伝競走大会出場者について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 小中学校への寄附について

5 その他

開 会 午後1時30分

教育長

本日は何かとご多用のところご出席くださりまして、ありがとうございます。ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達していますので、令和元年田原市教育委員会第11回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、天野委員と高崎委員のご両名を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

教育長

それでは、議題に先立ち教育長報告を私からさせていただきますので、いつものページをご覧くださいと思います。

10月8日、第10回の定例会。

10月10日に田原中学校からはじまり、亀山小、伊良湖岬小、福江小、田原東部小学校と学校訪問がありました。本年は授業を見る時間をできるだけ多く取ろうということで、1クラスに寄る時間は、以前は5分とかでしたが、10分近く取れたのではないかなと思います。

10月17日の田原東部小学校は、午前中3時間見て午後も1時間研究授業を見たということで、今までの中で記録的に長く見られて、しっかり子どもの様子、先生の指導ぶりも拝見できてよかったかなというように思います。

戻りまして、10月11日、墓前祭と嶺山神社の大祭。墓前祭は城宝寺のほうでありました。その後、山本二三トークショーが嶺山会館で行われました。トークショーの後にサイン会もありまして、県外からの方も見えており、ひきつける力の強さを感じました。

10月12日のバスケットボール大会は台風の影響で13日に延期になりました。亀山小、伊良湖岬小、南部小などが優勝しており、小規模校でも力を合わせると結構よかったのではないかなと思います。

10月13日、午前にスポーツギネス大会、午後は名フィルの弦楽四重奏コンサートがありました。名フィルの弦楽でバイオリンが2台とピオラとチェロのいい演奏ができたかなと思います。

それから、駅伝の顔合わせもありました。

10月19日、消防団のポンプ操法大会ということで、雨が途中から降ってきてまして、大変でしたけど皆さん日ごろの練習の技を發揮されて頑張っていました。こういう訓練の様子も含めて、やはり市にとっては欠かせない消防団だなということを痛感しました。

午後は、海に囲まれた花のまちコンサートということで、サクソフォンの四重奏のコンサートがありました。前々日から神戸小、六連小、

東部中と回りまして、子どもたちにもコンサートに来てほしいという誘いも兼ねながら、最終的には東部中のプラスの子たちがコンサートの演奏に加わって一緒になってやれてよかったかなというように思います。

10月20日、人権ファンクション講演会「心の声がちゃんと届いていますか」があり、これは非常にいい講演会でした。高知大学大学院教授の岡田倫代さんという方で、プロフェッショナル仕事の流儀にも出たということで、私も昔この番組を見ていて、この方の活躍ぶり、定時制高校で一人一人の子どもと向き合っていることで、「心の声をちゃんと届いていますか」というのは、「聞いていますか、聞こえていますか」というところで、資料もあるので、内容的に非常に細かく、しっかりありまして、最後のメッセージまでついて、高知から来てもらって大変だったかなと思うのですが、情熱的な2時間の講演をしていただきました。学校の先生に、もっと聞いてもらえるといいかなと思いました。

10月21日、泉中の統合準備委員会。

10月23日、童浦小学校の学校訪問と東三河の初任者研修会。新任の先生たちがあちこちで研修をするのですが、今回は渥美農高で日ごろあまり高校を知らない、特に工業高校とか実業高校で、実業を勉強しようということで、非常に先生たちが若干今までになく雰囲気が変わって、花開いたように植物や畜産の関係をしっかり聞いていました。キャリア教育的な部分で、ちょうど渥美農高の生徒たちが文化祭の準備、農高祭の準備をしている場面で、高校生も非常にしっかりやっていたところを見られてよかったかなというように思います。

10月24日、神戸小と若戸小の研究発表会。年々研究発表会への取り組みが受ける側もそうですが、参観する側もよくなっているかなというように思いました。神戸小のほうがたくさん集まるのですが、若戸小のほうもそれなりに人数が集まって、道徳に対してしっかりと研究協議が1時間半あったのですが、最初の取組の様子で、先生たちがいろいろ付箋にメモをたくさん書いていましたので、とてもよかったかなということを感じました。

10月25日、神谷傳兵衛氏の伝記を贈呈いただきました。幡豆郡一色町の出身の方で、東京で、私財を投げ打つようなことで、日本最初のワイン工場をつくられたり、今は名鉄になっていますが三河線を始めたり、いろいろな面で三河と関東で活躍され、歴史的な人物との交流も広くて、そのような方との交流場面も書いてありました。

10月27日、市民まつりで、防火ポスターの表彰式がありました。

10月29日、六連小学校の学校訪問。来年研究発表を行う学校で、結構気合が入っておりました。本日も、先ほどまで東栄町の教育委員会

が六連小学校に英語の小学校英語の勉強に来ていました。何とか東栄町でも田原市のやっている授業をやれないかというようなことで、非常に熱心に質問していました。東栄町も豊根村も設楽町もみんな中学生が海外に行きますので、英語をやっておくといいなということで、私も声をかけて、まずは東栄町が見に来ました。

10月30日、青少年健全育成協議会。

11月4日、福祉の心をはぐくむ集いがありました。福寿園が文化祭で毎年表彰を行っているのですが、3年に1回は、作文も含めた表彰をということで、絵手紙と作文の表彰式が、田原の文化ホールでありまして、市内の小中たくさんの子どもの応募がありました。福寿園は知多や尾張にも施設を持っていますので、そういうところにも募集をかけて、この輪が広がっているという報告がありましたので、引き続きうまく協力できたらなと思います。

11月5日、三河部の都市教育長協議会。

11月6日、午前中に東三河の教育長会。午後から、田原市教育支援委員会がありました。これは来年度の特別支援の子どもたちの進路をどうしていくかというのを相談する会で、みんなでこの子の未来についてどうかということで、意見を出し合う会です。それに関係しまして、福江高校に豊橋特別支援学校の分教室「潮風教室」が設置されるということのを10月末に大村知事のほうから発表いただきました。

11月7日、兵庫県の猪名川町の教育長を含めた教育委員さんの視察がありました。統廃合の件、学校再編についての問題で、猪名川町も中学校2校を1校に統合するというときに、本市のやっている様子が一番参考になるのではないかということで、5人が来ていろいろ勉強していかれました。

11月9日、大草小の学芸会と渥美農高祭がありました。

大草小学校は少人数の子どもたちひとりひとりが大変輝いていて、頑張っていてやれていたなというようで、地域の参観していただける人たちも非常に熱心に見ていただいております、いい雰囲気は体育館の中に漂っていたなというように思います。崑山劇とか、江崎巡査物語とか、磯丸劇みたいな、そういうふるさと劇はないのですが、テーマで真剣に考えて演技しようというところが全部に感じられて、学校のまとまりという部分が感じられて、非常に感動的な学芸会であったかなと思います。全校合唱も、先生たち、PTAも入って、舞台の上がにぎやかでとてもよかったと思います。

昨日、成章高校の校長先生がみえて、成章高校の普通科が1学級減となる報告をいただきました。それに伴って先生の数も毎年2人ずつぐらい減っていくという話もありました。田原市の子どもたちが市内に残るように、支援していけたらと思います。

明日以降には、また懇談会、学校保健の研究会、それから週末は嚶

鳴フォーラムが岐阜県大野町で行われます。

11月17日には実業団駅伝、21日から予算ヒアリングなどというのも入っております。

そんな形で、11月も過ぎていきますが、まだまだ被災地が大変なので、ボランティアが足りないということや、新聞などで義援金の欄などを見るにつけ、災害の大きさを感じております。

田原市からも、保健師の方が長野県のほうに応援で行かれ、嚶鳴フォーラム関係の佐賀県多久市には技師の方が11月の頭から3月末まで応援で行っております。

そんなことで私のほうからの報告とさせていただきますが、何かご質問等ありますでしょうか。

では、ご質問ないようですので、教育長の報告事項を終わらせていただきます。

教育長

では、これより議題に入ります。

初めに、議案第36号「令和元年度一般会計教育費補正予算について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

教育総務課

それでは、私のほうから説明をさせていただきます。

令和元年度一般会計教育費補正予算について、令和元年度一般会計教育費補正予算については、別添によるものとする。本日提出の教育長名でございます。

1枚めくっていただきますと、補正の要求書となっております。教育総務課、生涯学習課、中央図書館ですので、それぞれの課から順番に説明をさせていただきます。

まず、12月補正の歳入予算要求書になります。教育費の寄附金としまして、8月30日に田原体操クラブ様から田原中学校に対しまして、体育館施設の教育環境充実ということで20万円の寄附がございましたので、こちらを歳入予算とさせていただきます。

次に歳出についてご説明します。

まず、中学校管理運営事業になります。工事請負費ということで、要求額1,188万円。田原中学校、赤羽根中学校のグラウンドにあります防球ネットが経年劣化等に加えまして、部活動等で近隣の住宅や道路などへボールが飛び出してしまったりと、事故は今のところ発生しておりませんが、そういった危険な状況もありまして、早急な改修が必要となっているということで、今回、防球ネットの張りかえ、それから支柱の腐りがありますので、そこの取りかえをするための工事費で1,188万円を計上するものです。工期としては3カ月ということで、今年度いっぱいをかけて、この2校のネット改修等を行っていく予定でございます。

次に、田原中学校管理運営事業ということで、先ほどの歳入にありました寄附の20万円を田原中学校管理運営事業費に組みかえさせていただきまして、需用費と備品購入費で各10万円ずつの歳出の内容にさせていただいているものでございます。

それから教育総務課としては最後になりますが、債務負担行為（補正）見積書をご覧ください。こちらにつきましては、小学校管理運営事業について債務負担行為をお願いするというもので、現在、伊良湖岬小学校のスクールバスの運行業務を委託しておりますが、これを再来年度の9月まで契約更新するものです。伊良湖岬小学校は、現在新設工事中ですが、新校舎ができるまでの間のバスの契約更新となります。金額としましては、令和2年度に4,962万4,000円、令和3年度が2,071万2,000円となります。その後、新校舎になりますと、スクールバスのルートが変わってきますので、そこで再契約するか、スクールバスの直営化をするかといったところの計画となっております。

教育総務課からの補正予算の説明は以上です。

続きまして、生涯学習課からお願いいたします。

生涯学習課からは、3つの事業につきまして今回補正をお願いしているものでございます。

まず、1つ目が、市民館運営事業でございます。内容といたしましては、工事請負費ということで239万2,000円を要求しております。

工事の内容ですけれども、田原中部、堀切、中山の3市民館にございますエレベーターの主ロープの耐用年数が来ているというようなことで、そちらの取りかえを行うものです。3館で239万2,000円ということで、1館につき約80万程度かかるというものでございます。

ロープについては、10年から15年ぐらいが耐用年数ということで、順次そういった取りかえが必要となってきます。

続きまして、田原文化広場整備事業でございます。こちらにつきましては、中央図書館には氷蓄熱式の空調機がついているわけですが、現在の猛暑で夏に冷房がきかないというような状況が続いているということで、早急な改善が必要であるというところが言われております。そのほか、文化会館やアリーナのほうの空調機につきましても、かなり年数が経っているということで、今回、文化広場全体としての空調機の計画をつくりたいということで、そちらの設計のほうの予算を4,400万円要求するものでございます。空調機の設備の状況については、中央図書館、文化ホール、体育館のロビー、アリーナ等、それから冬場についてはボイラーがあるということで、そちらも含めて、もう一度全体の空調計画をつくりたいということで、要求をしているものでございます。

最後に、渥美運動公園運営事業費でございます。こちらも工事請負費といたしまして、433万1,000円をお願いしているものでございます。

内容でございますが、渥美運動公園の野球場の外野のグラウンドが雨等によって、かなり荒れてしまっている、土が流出しているということで、こちらのほうを整備していきたいということで、上げさせていただいております。もう一つ、多目的広場に400メートルトラックがございます。そちらに2つのコースがラインテープでずつつくってあるのですけれども、それがかなり傷んでしまって、ところどころ切れていたり、ラインテープを止めてあるくぎが出てきてしまっていたりと、非常に危険だということで、張りかえの工事分を要求させていただいております。金額につきましては、野球場の外野の整備工事といたしまして317万9,000円、多目的広場の陸上ラインテープの整備工事として156万3,100円を要求させていただいているものでございます。

生涯学習課からは以上になります。

中央図書館図書館業務係長

続いて、図書館から説明をさせていただきます。

図書館運営事業の委託料として246万3,000円、工事請負費として3,889万9,000円、備品購入費として35万2,000円を計上させていただきました。

事業の概要として主な内容は2つとなっております。1つ目は、中央図書館の窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼付工事です。現在、中央図書館に飛散防止フィルムが貼られていない窓ガラスが多数存在し、最も高いところでは17メートルの高さにあり、災害時にガラスが破損した場合には、高いところから広範囲にわたって、下の閲覧席にガラスが飛び散る恐れがあります。

また、中央図書館の空調機器の不具合が続いておりまして、真夏には30度を超える日が多数あります。フィルムを貼ることによって、遮熱効果を高めたいというように考えております。

2つ目としまして、中央図書館の非構造部材改修工事です。8月に中央図書館の吹き抜け部分の天井が非構造部材であることがわかり、来館者の安全を確保するための耐震補強工事を行いたいと考えております。利用者が多くなる夏休み前に完了させるために、今回の補正で予算計上させていただきました。

工事中は、閲覧室の一部を閉鎖して部分開館を行うにあたり、貸出・返却カウンターを移設してサービスを行いたいと考えております。そのための配線移設工事だとか、書架の移転を少し考えたいと思いついて、備品購入費を要求するものです。

お願いします。

教育長

事務局の説明が終わりました。

どこからでもいいですので、ご質問いただけたらと思いますけど、いかがでしょうか。

太田委員
教育長

すみません。

どうぞ。

太田委員

田原中学と赤羽根中学の防球ネットの改修工事がありますが、これはついでこの前の台風に関連した部分が大いということですか。

教育総務課長

いえ、その前からのネットの破れ等がありまして、先生方が手縫い等で補修をやっておられるのですが、それだけではなかなか追いつかなくなってきたというところがあります。それから、赤羽根中のネットは、支柱が根腐れといいますか、直接地面に打ってありますので、それが劣化してきていまして、それと今年の台風が重なって、ネットのほうも広く破れてしまっていて、それらの取りかえをするものです。

太田委員

今回の台風については、それほど市内の小中学校に大きな被害のほうはなかったですか。

教育総務課長

そうですね、実際、目立った被害というものでいくと、赤羽根中の体育館の屋根のところめくれ上がったというところですが、それも10万円しない程度の補修で済みました。

教育長

今回の防球ネットは、形とすると台風だろうと言われる方もおられますが、実際にはこれまで修理できなかったものをこの際ということにして、それ以外の学校は、被害というものはなかったです。

そのほかいかがでしょうか。

教育総務課、生涯学習課、図書館と3つの補正について、お諮りしたいと思います。

議案第36号「令和元年度一般会計教育費補正予算について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議ないようですので、議案第36号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に議案第37号「市議会提出案件（伊良湖岬小学校新築工事請負契約の変更）に対する意見について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

教育総務課長

お願いします。議案第37号になります。

市議会提出案件、伊良湖岬小学校新築工事請負契約の変更に対する意見について。伊良湖岬小学校新築工事について、下記のとおり請負契約を変更するため、田原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めることについて意見を求める。本日提出の教育長名でございます。

今回の内容になりますが、まず、伊良湖岬小学校新築工事につきましては、既に契約行為が終わっておりまして、工事に入っております。今回は、契約金額の変更になります。これは、今年10月の消費税の改正によるものでございまして、変更前は10億2,600万円。こちらが税抜きでいうと9億5,000万円の契約金額に8%かけた契約でスタートしましたが、税率の改正によりまして、10%になりましたので、9億5,000万円に10%上乗せしました10億4,500万円が変更後の契約金額

教育長

というようになるというもので、こちらのものを今度の議会に提出するといった内容でございます。

以上です。

事務局から説明をいただきました。

何かご質問等ございますか。

では、よろしいでしょうか。

お諮りをいたします。議案第37号「市議会提出案件（伊良湖岬小学校新築工事請負契約の変更）に対する意見について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（異議なし）

教育長

では、ご異議ないようですので、議案第37号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。

教育委員の皆様方からの連絡報告事項を順次お願いいたしたいと思っております。

では、太田委員からお願いいたします。

太田委員

お願いいたします。

10月10日に東海北陸の教育委員会連合会の豊橋市で行われた講話研修に出席しました。愛教大の風岡先生のコミュニティスクールに関するお話で、コミュニティスクールを導入されてきました背景だとか意義、あり方等、細かくご説明いただきましたが、大変難しいというか、ちょっと堅いお話だったなというように思いました。このコミュニティスクールが推進されてきて、努力義務化されてきているようなことで、田原市内では福江中学が先進的に取り組んでおりますが、風岡先生もこの福江中学のコミュニティスクール導入に関しては、ご支援いただいたということで、お話の中でも例を挙げてご説明をされておりました。福江高校の取組についても、例を挙げていただきまして、東海北陸の教育委員会連合会でも地元の田原の学校が紹介され、うれしい気持ちになりました。

それから、10月15日に亀山小学校の学校訪問に行ってきました。

亀山小学校の学校経営の方針が「ハッピー笑顔」ということで、キーワードは「元気」だとか「ほっこり感」だとか、こういったものを学校が目指しているということで、授業を参観いたしました。授業の中だとか、それから来年教育活動課題研究の発表があると思っておりますが、それに取り組んでいるということで、それらの活動の中でも、子どもたちが自己有用感を持って生き生きと活動するという、そういうテーマに向かって取り組んでいる様子がとてもよく表れておりました。亀山小学校は、少人数で、とにかくほめるということによって自己有用感を持たせて、生き生きとした活動を目指しているということ

で、大変すばらしいことだと思いますが、小学校を卒業して今度は中学へ行きますと、途端に集団が大きくなる。その中でも厳しさといったことも体験していくわけですが、小学校の中でも苦しいことや、あるいは叱ることというのも先生方はやってみえると思うのですが、それらについても子どもたちの意欲を伸ばしながらやっていくといいかなということを最後述べさせていただきました。

それから10月24日に神戸小学校の研究発表会に行ってきました。新しい学習指導要領に準拠した主体的、多様な深い学びを目指すということで、「自分の思いをもち、深める子の育成」ということで、語り合いを核とした授業づくりに取り組んでいました。特別支援学級から1年生から6年生まで、すべて話し合い、語り合いの場面をつくってありました。小川校長先生と一緒に回らせていただいたものですから、本音も時々聞かせていただいて、研究に向けて教育委員会のほうには、教員配置に大変配慮いただいてありがたいという言葉と、それから学年集団によって随分雰囲気があるということで、学年にしたがって発達段階で成長していくのですが、やはりまだ、集団の中には成長によって十分学年に応じたような取組ができていないというようなこともお話いただきました。

先ほど、教育長のお話の中にもありましたが、参観された方は、受け身の参観ではなくて、授業を見た後の授業者と語る会では、積極的に語り合いを行ってありました。こういう形の研究発表は、昨年の中部小の発表でも同じような形式で、田原市内の研究発表は、参観者が主体的に取り組んでおり、受け身の発表ではない、とてもよい状況だということに思いました。

それから、11月9日、福江小学校の学芸会に行ってきました。校長先生のお話の中で、昨年までは劇が多かったのですが、今年は器楽だとか群読だとか、そういったものも学年のほうで取り組んで大変ありがたいということをおっしゃいました。

社会福祉協議会の指導で、1、2年生が手話で合唱を行っていましたが、それもとても低学年らしい元気で、しかも福祉の取組をしていて良かったなと思いました。6年生が火垂るの墓の劇をやっていましたが、6年生が戦争であったり、あるいはふるさと学習であったり、そういったものに積極的にどの学校も取り組んでいくようになったということも、うれしいなということに思いました。

全体としては、あまり時間をかけずに手づくりの感じがとてもよくできていて、3週間取り組んできたということですが、教員の働き方の問題もあるし、授業時間数の確保の問題もありますけれども、限られた時間の中で先生方が一生懸命取り組んで、子どもたちも一生懸命取り組んだなということに思いました。来賓の方も大変多くて、県議さんとか市議会議員さんも2人見えておりましたけれども、保

教育長
金田委員

護者もとても整然と学芸会を見ていて、いい雰囲気の日でした。

以上です。

では、金田委員お願いします。

10月10日、午前中に中部小学校の学校訪問に行ってきました。

各学年2学級の12クラスと特別支援4クラスの計16クラスあって、自分が一番感じたのが、同じ学年ごとの先生が連携しながら、いろいろな授業に取り組んでいるなというところでした。3年生以外は同じ単元、主題の授業をやっていて、5年生は算数で同じワークシートを使って授業を行ったりだとか、4年生に関しては、国語の「ごんぎつね」を両クラスやっていたのですけれども、教室の入口に協力してポップをつくったりだとか、作者の新美南吉の写真をはったりだとか、「ごんぎつね」の資料を写真ではり出してありました。また、図書館と連携をして、新美南吉の「ごんぎつね」など、作者の本が置いてあったというのには、興味を持たせる意味ではとてもすばらしいなと思いました。

また、教室の奥にベテランの先生の席をわざと置いて、通りながら新人の先生のチェックができるような、そんなことも工夫しているよと先生がおっしゃっていました。放課になると多くの子どもが外に出て、ボールや遊具で元気よく遊んでいる姿を見てとてもよかったなと思いました。

午後から、東海北陸の教育委員会連合会の研修会ということで、コミュニティスクール等地域学校協議活動についての講話研修を太田委員と受けてきました。テンポが速かったりだとか、専門用語が続いたり、ちょっと意味がわからないなということが多かったのですけれども、地域を活性化させるためにこういった手法があるのかというような、そんなイメージで聞かさせていただきました。

ただ、全学校で取り入れるということになると、効果がある学校もあるかもしれませんが、逆に多忙化を生んだりだとか、先生のストレスを招きかねない部分もあるのかなと、そのように思いました。

また、福江中が昔新聞で取り上げられたラベンダーもこの手法でやったというのを聞いたときに、福江中に行くときに、またそういったことを教えてもらえたらなと思いました。

10月13日の日曜日に小学校のバスケットボール大会に参加しました。1日延期になったのですけれども、判断がとても早かったなと思ったのと、開会式をなくしたことによって、学校への集合時間を遅らせたということで、台風で被害があつて、あわてて学校に来て子どもたちにけががないように、確実に安全に来れるような配慮というのが感じられました。また、開会式はなかったのですけれども、校長先生が舞台の上に先生を集めて、5分ぐらいですけれども簡単なミーティングを行って、審判をやる際には、積極的に笛を吹いて子どもたちに

指導してください等、そんなアドバイスを聞いて、とてもいいなと思いました。

10月18日に田原市子ども子育て会議というのに参加してきました。

幼児教育・保育の無償化について話し合いました。10月から田原市も無償化に対応できるように、公立保育園だったところを認定こども園に全部移行したということでした。移行しても保育のサービスに変更はない、また、子どもたちの環境も変わらないという報告を受けました。

また、印象的な質問ということで、障害を持っている1歳から3歳児を受け入れる施設が田原市にはない。豊橋市の高師にあるあゆみ学園というところに、田原市から6名通っているそうですけれども、伊良湖から通う場合、1時間半かかってとても大変だということに対する答えとして、幼児の障害を持った人に、なかなか加配を田原市ではつけることができないとか、いろいろな障害の種類があるんですよとか、専門的な療養を受けたほうがよいのではないですかというそういった市役所の答えがあった中、先ほど午前中、同じような子ども子育て会議があって、資料の中で今後、児童発達支援センターの設置ということで、項目が挙げられていまして、そちらについて質問をしている方がいたのですけれども、小学校入学前の障害児支援センターを来年度、予算獲得に向けて要求をしていきたいというそんな話も持ち上がっていました。

10月23日に童浦小学校の学校訪問に行ってみりました。3時間かけてゆっくり授業や学校の様子が見られてよかったなと一番そこに感心しました。一番印象に残ったのが、2年生の授業に母親がいたということです。邪魔にならないように立っていたので、最初は支援員の方かなと思ったのですが、指導している様子がなかったので、どういう方ですかとお話を聞いたら、子どもが不登校気味で母親がいないと学校に行きたがらないということで、そのために母親がこうやって午前中は来ていていると。そんなお話で、やはりこういった方には、親の理解とか協力がとても大切なのだなというのを感じさせていただきました。

童浦小学校と中部小学校の学校訪問に参加させてもらったのですが、先生の多忙化に対して成果が少しずつ現れ出しているのかなというのを切に感じました。自分たちの学校の現状や特徴をしっかりと把握して、的確な対策をできた結果が、こういった成果につながったのかなというのを話を聞きながらひしひしと感じさせていただきました。

あと、1点お願いがあるのですけれども、この日の学校訪問で事務局の参加者に変更があったと思うのですが、できれば変わった場合は、資料は差し替えなくてもいいですので、名前は教えてもらいたいです。

自分たちはなかなか会えないので、名前を間違えて覚えたら、ずっと間違えたままですので、そこら辺をお願いしたいなと思います。

11月9日、伊良湖岬小学校の学芸会に参加させていただきました。

始まる前に時間があつたので、伊良湖岬中学校跡地に行って、見てきたのですけれども、きれいに更地になっていました。何となく、神社の横に正門が残されていて、ちょっと感慨深いものがあるなと思いました。閉校式に行ったときよりもすごく広く感じ、ここが小学校になるんだなと感じさせていただきました。

岬小の学芸会は、1年生から6年生まで全部、学年の劇だったということが一番印象に残ったということと、2年生でふるさと学習の一環として、糟谷磯丸の劇を統合した子どもたちが難なく演じていて、保護者にもパンフレットを配っていて、見ながらこういった偉人がいるんだなという、学芸会でもふるさと学習をされていて、よかったなと思いました。

もう1点、4年生から6年生まで音楽部の金管合奏、これが運動部とか音楽部のある中で、40人近くの子どもが金管楽器を吹けるというのは、子どもがすぐれているのか先生の教え方がすごいのか、とにかくすごいなという、この短時間、限られた時間でよくこれだけ吹けるものだなと感心させて、見させていただきました。

また、その後に校長室に案内されて、各校区の総代さんや議員さんから、新しく新設される小学校にもプールをつくってほしいと伝えられました。何とも答えようがなかったので、持ち帰って教育委員会で報告したりとか自分なりに考えさせてもらいますということで、その場は帰ってきたのですけれども、あの後、自分で考え、伊良湖岬の住民として考えたとき、ここ数年の環境の変化の中で、真っ先に伊良湖岬小学校からプールをつくらないというのは、ちょっと大変なのかなというのと、それにおいて童浦小学校にプールをつくるということを知ったら、ちょっと不平等さを感じるのではないかなと、そのような印象を受けて帰ってきました。

以上です。

童浦小学校のプールはつくるというのは。

まだ、決まってないです。

大規模校のほうは、もし、残すとしたら、つくるのではなくて維持したほうが費用的にはというようなことです。ただ、市としては、市内の小中学校のプールは集約化をしていきたいというのがあって、いずれは民間の市民プールも含めて、屋内型の温水プールで期間を夏だけではなくて、5月から11月ぐらいまでの期間を広く使って、そういった中で授業日数をこなすというようにしていきたいというのがあります。今年の6月に議員さんのほうにも、そういった形の方向で検討していきたいという報告をさせていただきました。先ほど、金田委員が

教育長
教育総務課長

金田委員
教育総務課長
教育長
金田委員
教育長

言ったように、タイミング的に新しくできる学校が伊良湖岬小学校だということであって、教育委員会としては逆に第一番手となって、プールのない学校、屋内プールを目指す第1校目という形でいきたいということです。ほかの学校も今、プールはありますが、来年度は実証実験をしながら、バスを使って時間的なところや、子どもたちの状況など、先生たちとも連携を取っていきたいなというように考えています。

確かに周りから見ると、また伊良湖岬かと。

そんな印象がすごく伝わってきました。

市とすると、市内の学校全体でいきたい、動きたいという考えです。

金田委員さんには申し訳なかったかなと。

いや、いろいろと話ができてよかったです。

ありがとうございます。

常々、要望は、私たちも教育長含めて、受けとめておりますが、今はいろいろと状況が厳しい中であります。学校未来創造計画をつくらずそのままいくのは当然無理でしたので、今、未来創造計画に直しても厳しい状況、いわゆる学校の長寿命化に対しても、長寿命化に対する予算がこちらの予定よりも随分厳しいなということで、これでは長寿命化ができないのではないかなという部分も心配しています。

今後、学芸会などのときに、地元等からお話が出てくるかもしれませんが、またそのときにはお聞きいただいて、教育委員会へ報告するとお伝えしていただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、天野委員お願ひいたします。

天野委員

私は、10月13日に変更になりましたバスケットボール大会で、渥美総合体育館に伺わせていただきました。

確かに、延期の決定がとても早かったことに校長先生たちも助かったというお声や、集合時間のほうが遅れたことによって、やはり生徒の安全を考えてくださったということを私のほうでも聞きました。

渥美総合体育館は昨年雨漏りがしておりましたが、きちんと改修されており、去年は雨漏りしたよねなんて思ひ出話を校長先生たちとさせていただきました。

10月16日に学校訪問で、午前中は伊良湖小学校、午後は福江小学校に行かせていただきました。伊良湖岬小学校のほうは、各学年1クラスというのもありますし、各教室で10分間時間を取ってくださり、先生の導き方ですとか、子どもたちの意見をたくさん聞けて良かったです。いつも学校訪問というと、もう少し子どもたちの意見も聞きたいなと思ったところで移動ということが多くて、ちょっと残念だなということがあったのですけれども、今回、今後も時間をとっていくという方向でいくということも伺いましたので、いいなと思ひました。

1年生の生活科の授業で、1枚のプリントにあらかじめ各自で、左側に自分、右側に家族のどれかの1日の過ごし方を調べて書いてきてあり、それを見ながらの授業がありました。家族が自分のためにしてくれていることの多さを知るということで、左と右を見比べて、書いてあることの多さ、それを大変ということ想像するところから、「手伝ってあげたいな」という気持ちを持つということで授業をされていて、自分のお世話も含めてお母さんたちは時間がない、忙しいということを1年生がわかっていることに驚いて、感動をいたしました。

午後に福江小学校に移動いたしました。特に、伊良湖岬小学校の後でしたので、各教室での時間も半分ぐらいでしたので、あわただしく感じてしまったところがあって、それ以降のクラブ活動の関連であまり時間が取れないということを校長先生からお伺いしました。私も地元なのですけれども、裏に神社があるものですから、地元のお祭りなどに小学生とかが参加されているということで、とても地元と密接されていていいなと思いました。

確か、3年生だったと思うのですが、初めて聞いたのですが、ギフテッドチャイルドという子がいるよということを校長先生から聞きました。ギフテッドチャイルドとはどういうことですかと説明を聞いたら、知能が高いために、普通の年齢の子よりは進んでしまっているということで、実際にクラスに行ってみると、担任の先生の足元で寝そべっていたのですが、その前の段階では、教室を飛び出したりしていたけれども、先生が上手にクラスの中にはとどめていて、先生の導き方によって、時々発言など興味を持たせ、クラスのみんかも受け入れていて、多分、子どもたちも気になるのだろうけれども、授業は成立しているんだよということを伺いました。初めて聞いた用語で、いろいろ質問してしまったのですが、また勉強したいなと思いました。

10月24日に神戸小の研究発表会に参加させていただきました。初めて、神戸小学校にお邪魔したのですが、本当に広い学校でした。

先ほど、太田先生も言われたのですが、「自分の思いを持ち、深める育成」を目標に、3年間の研究の成果を発表されていました。その中で、「揺さぶり」という言葉がとても印象的で、先生が子どもたちに対する問いかけとか問題提起とか、この揺さぶりというテクニックで子どもたちがぐっと授業に入り込む、そういう雰囲気を見せていただきました。授業の参観の後、先生方が真剣に協議をされている姿も見せていただいて、いつもこの辺は保護者目線になってしまうのですが、本当に子どもたちのためにいろいろ研究してくださっていて、感謝だなと思って過ごさせていただきました。

11月7日に、山本委員の後任で田原市の保健推進協議会に出席しました。前任の山本委員は薬剤師でいらっしゃるのに、私なんかが行って

お役に立てるのかなと思って参加させていただいたのですが、いろいろ田原市民の健康のことを考えくださっている、興味深い会議に出させていだきまして、とても勉強になりました。健康たはら21計画ですとか、田原市自殺予防対策などのお話しをしていただいたのですが、受動喫煙防止対策のお話の中で、中高生の喫煙や飲酒について、学校が指導した場合の報告数というのは把握しているのかという質問が出ていまして、健康課長さんは、そのときはうちではわからないとおっしゃっていたのですが、教育委員会で学校からの報告数というのは把握していらっしゃるのですか。

学校教育課長

喫煙の調査はしていません。生徒指導上の問題行動についての報告は、中学校はしてもらうようになっていますが、現在そういった報告はないです。

天野委員

高校についての報告は、我々ではないものですから、わかりません。はい、わかりました。

健康に関する興味深いお話で、年に2、3回会議があるそうで、次回は2月の下旬の予定で参加させていただきます。

それから11月9日、高松小学校の学芸会に参加させていただきました。全校で81人ということで、「81人の心を1つに、光り輝く感動を届けよう」というスローガンで、みんな一生懸命練習してくださっていました。保護者の方達は床に座っているんですが、その後ろ側にパイプ椅子で敬老席が20席ぐらい仕切ってありまして、結構埋まっております。やはりお年寄り方は、パイプ椅子のほうが楽なのかなと思いました。各学年10何人、多くて20人ぐらいで、一番少ない6年生は9人なんです。工夫して劇をやっていて、児童一人一人の演技力の高さや、また、群読とか合唱とかもとても上手で、感動いたしました。いい式に出させていただきました。

終わりに校長先生が紹介してくださったのですが、この後、PTAの企画展でおうどんが家庭科室でいただけますよと言われたのですが、そういう地元の方の協力もあるあたたかい学芸会でした。

教育長

以上です。

ありがとうございました。

喫煙の部分については、私も聞いていませんし、最近タバコも容易に買えないです。高校はまだ若干違うかもしれませんが、市内の中高では、青少年健全育成推進会議で、高校の先生も小中の先生も一緒になって、問題的な部分も共有しながらやっています。比較的高校生の様子も見ても、以前に比べて何か暗ぼったとか、すみっこに行っちゃうとか、そんな感じはなく、結構表情が明るいので、市内、半島の中の状況はよろしいかなというようには感じています。また何か聞こえましたらお届けいただきたいと思いますし、学校教育課長も、特に、何か聞いているということはそんなないね。

学校教育課長
教育長

そんなにはないです。

とにかく、学級減にならないように、高校も全員張り切って通ってもらえるといいかなと思います。ちょっと退学者などはどれぐらいいるかは、把握していませんが、農高などの様子を見ると非常に元気に農高祭をやっておりましたので、そんなふうで比較的健全に育っているのではないかなというように感じております。

お待たせしました。高崎委員さんどうぞ。

高崎委員

今月はいろいろご無礼しておりまして申し訳ありません。まず、初めに申し上げます。

唯一、伺えると思いましたがバスケットボール大会も日にちが変更になりました。私、7年もバスケットボールをやっておりまして、楽しみにしていたのですが、伺えずとても残念に思います。先ほど教育長さんがおっしゃったように、大きい学校ではなく、小規模校が上位に行けるということは、恐らく先生方のご努力とか、みんなが丸となったんだろうなということで、とても私自身うれしく拝聴いたしました。

それから、私、市民まつりに法人会のほうで、税金クイズの担当で、ブースにいたのですけれども、私が一番びっくりしたのは、お子さん1人に対する教育費に、国の税金から1か月で約7万円から8万円使われているそうです。大体その7万円から8万円と答えられるのは親御さんでもいらっしゃらなくて、7、8万円を私事ですけど、我が子もいただいていたかと思うと、これは、とても恐縮いたしました。今度、校長先生にお願いをして、また東三河全域で絵手紙のコンクールがあるものですから、去年も田原の子でとてもいい賞をもらった子がいますので、頑張ってくださいととてもうれしいなと思えました。

それから、先ほどの成章高校の話ですけれども、実は校長先生がうちの長男の高校1年生のときの部活の顧問の先生でいらっしゃいまして、とても熱い方で、別の学校でお会いしたときに、成章高校の野球部が名門として復活できるように、叱咤激励いたしますというようなことをおっしゃっていましたが、やはり強い部活があると生徒さんが集まるのだらうなということは思いました。あと、渥美線に乗ってましたら、田原市の高校生に対してのバスの補助の広告をみて、びっくりしたんですが、こういったことで、将来ある田原市のためになる方が少しでも地元に残ってくださるといいなと思えました。

あと、先ほど太田先生がおっしゃった、神戸小学校の話し合いの教育、これが私、大きく言うと、日本人に一番欠けている教育だなと思うので、こういう教育を田原市で増やしていただいただけると、将来田原の財産になる子が育ってくださるのかなというようなことを少し思いました。

また、プールの問題なのですけれども、私は市のやっていらっしゃ

ることは、とてもいいなと思います。というのは、プールに入れる期間が少ないということと、先生方の多忙化を防ぐということ、あと施設がだんだん閑散としていて、温水プールを使って、子どもたちが、もし他校の子と触れ合って刺激しあえたり、もちろん距離の問題もあると思うのですけれども、先生方の多忙化も重々ほかの先生から伺ったこともありますし、やはり先生方の休息を取ることが質のいい教育につながっていくのだろうなということも思いますので、私は温水プールを使えて、お子さんたちが今、紫外線の問題もあるので、そういう場でプールの教育を受けさせていただくというのは、我が子がいたらとても大歓迎かなと思いました。

それから先日、豊橋のプラットで大草小学校が出演されるのを拝見したのですけれども、よくここまで小規模校の大草小学校が、それから地域の方のご協力を得て、この大舞台で堂々と演じていたのは、とてもうれしく思いました。こういう小規模校、それから大きい学校関係なく、お子さんたちが堂々と自信を持っていただける場がこれからもたくさん出てくるといいなということも思いました。

あと、もう1点申し上げたいのが、お子さんの教育にかかわることではないかもしれないですけれども、日韓親善協会に参加させていただいてまして、今年実は、日韓親善協会というのが最後になるということで、この間濟州島に行かせていただいたのです。日韓親善協会は、高齢の方が多いということで、なくなってしまうのですけれども、韓国とか中国とのやり取りはあるのですか。

今は、ほぼないです。豊橋市も交流をしていたのですが、やはりたまたま、徴用工の問題等で、話しができないし、子どもを送るわけにはいかないというような状況だということです。日韓の協会、私も今年のご無礼してしまったのですけれども、なかなか後継者というのか、次の世代へのつながりが難しいですね。若い方ももう少しやってくるといいのですが、熱のある方々が30年やってきて高齢になってしまって、なかなか存続が難しいということで、バトンが渡せない。向こうの状況も含めてということで、市としても、ソウルの銅雀区という区は、姉妹都市ということで、ずっとやっていたのですが、田原市長も韓国との交流に力を入れていきたいような気分もあるのですが、今の時期は難しいなというところで、自重しているというのですか、ですので流れとしては韓国との交流は難しいなと。

そうですね、これからは個人的には、若い人でつなげられる人はつなげていきたいなというような話をこの間出ていましたけど。この日韓親善協会をつくった方がおっしゃっていたのは、本当は候補として田原か目黒区、どちらかが最初にあったのだけど、私たちは田原を選んだんだとおっしゃっていたので、だからすごく光栄なことだなと思って。

教育長

高崎委員

教育長

私もその方に2、3回お会いしたことがあります。非常に情熱的な方で。せっかくの国境を超えた交流というのは非常に心温まるものがあるのですが、今回ラグビーなどでも非常にいろいろな面でいい場面があったかなというようにも思います。そういう海を越えて頑張ってくれている。田原市にも外国人が1,500人と増えていますよね。子どももそうなのですが、ちょっと大人のほうがなかなか外国人に対する抵抗があるのではないかなとも思いながら、また学校教育の中にも今回、いろいろな面でおもてなしの部分も含めた、ただ、何でもおもてなしがいいというものではなくて、やはりルールの中で、仲間意識を高めていくみたいなの、そういうところで何かいい教育ができないかなと思います。

皆さんからたくさん、いろいろありがとうございました。

以上で教育委員の報告を終わりたいと思います。

次に報告事項の(2)小中学校の寄附について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長

教育総務課からお伝えいたします。

平成31年度教育関係小中学校の寄附一覧をご覧ください。今回は、下の7番、8番について報告させていただきます。まず、7番としまして、10月25日、株式会社アジオカ様から、先ほど教育長の報告でもありましたとおり、図書の寄附がありました。教育活動に対する支援として、神谷傳兵衛伝という書籍を30冊、ご寄附いただきました。これは10月25日に市長室のほうで受領をさせていただきます。各小中学校、図書館、博物館等へ配付をさせていただいております。裏面に表紙の写真があります。

教育長

今日も六連小学校に行った際に、司書さんがきれいにテープを張ったりしていました。

教育総務課長

8番につきまして、10月23日に三河ミクロン株式会社様から、各小中学校に対しまして、草花用の土を提供していただいております。花いっぱい運動の推進並びに環境教育向上のためということで、149万円相当を、毎年、保育園、認定こども園等含めまして、寄附をいただいているものでございます。

こちらからは以上です。

教育長

小中学校の寄附について、2点報告がありました。

ご質問ありませんでしょうか。

では、ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。その他、事務局から何かございますか。

生涯学習課長

1枚、お手元のほうに資料をつけさせていただきましたけれども、令和2年の田原市の成人式のご案内でございます。

日時は令和2年1月12日日曜日午前10時から、会場は、田原市総合

体育館のアリーナで予定をしております。式典につきましては、開会の言葉から始まりまして、40分ほどを予定しており、その後、新成人の記念撮影等を行う予定となっております。ちなみに、資料の一番下に、平成31年の成人式の対象者及び出席者ということで、対象者が825名、出席が568名、大体7割ぐらいの方が出席をされております。今回もこのぐらいではないかなというように予想しております。ぜひ、委員の皆様方にもご出席をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ちなみに、皆さんご存じだと思いますけれども、2022年令和4年の4月1日に成人年齢が引き下げられるということで、それに対する成人式のあり方でございますけれども、前回7月に一応発表させていただいたように、式典の名称であったり、そういったものについては、今後決定していくということですのでけれども、対象者は今の成人と同じ、20歳を対象に行っていくということで予定をしております。

簡単ですが、ご案内とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

成人式、よろしくお願いいたします。

教育総務課からですけど、次回の定例会のご案内です。日時は12月13日金曜日の15時30分、会場はこの200会議室です。

以上です。

田原市博物館の1万人超えについて、文化財課長お願いします。

ありがとうございます。

11月9日土曜日に1万人達成ということで、市長さんもおみえになって、記念品を1万人目の方に贈呈いただきました。無事1万人達成ということです。それで、1万人は、田原市博物館は平成5年にオープンしておりますが、ちょうどそのときのオープニングの展覧会が1万9,000人、その秋の展覧会もちょうど横で国体の会場があって、無料開放にしていたということで、私の記憶だと1日に1,500人ぐらい入っていたのが結構あったと思いますので、そのとき以来の1万人超えということになります。

オープニングは、何の企画だったのですか。

オープニングは、崋山の展覧会です。

そういう趣旨でつくった元々は博物館ですので、崋山の展覧会をやって、その秋も同じような展覧会で、その余波で人が入ったというところがあります。

そのほかは、芸能人の絵画の作品の展覧会というのがありまして、それは10日間限定で、5,000人だとか9,000人入っていますけど、それは一時のものなので、今回のようにコンスタントに入ったというのは、本当に久々です。いろいろご協力ありがとうございます。あと、17日までやっておりますので、ぜひまたお誘い合わせの上、よろしくお願いいたします。

教育長
教育総務課長

教育長
文化財課長

高崎委員
文化財課長

教育長
スポーツ課課長補佐
兼係長

ます。

ありがとうございました。その他よろしいでしょうか。

すみません。スポーツ課ですけれども、今度の17日の日曜日に中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会があります。教育委員さんの皆さんにご案内等はないのですけれども、はなとき通りを出発して、保美の信号のところまで行って、また折り返し戻ってくるというコースですので、コース沿いに近い方はぜひ、近くで見えていただければと思います。これが正月に行われるニューイヤ駅伝の予選会になっており、テレビで見るような選手が目の前を走ると思われますので、ぜひ見ていただければと思います。よろしく願いいたします。

以上です。

教育長

では、よろしいでしょうか。

以上で本日の議事は全て終了しました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第11回定例会を閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。

閉 会 午後4時45分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員